

平成 17 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 松下電器産業株式会社
(URL <http://panasonic.co.jp/>)
(コード番号 6752 東証・大証・名証第一部)
代表者名 取締役社長 中村 邦夫
問合せ先 財務・IRグループ
グループマネージャー 河井 英明
(TEL 06-6908-1121)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 4 月 28 日の決算発表時に公表した、平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の従来の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	税引前利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,800,000	280,000	230,000	63,000
今 回 修 正 予 想 (B)	8,800,000	300,000	230,000	50,000
増 減 額 (B - A)	-	20,000	-	13,000
増 減 率 (%)	-	7.1%	-	20.6%
(ご参考) 前 期 実 績	7,479,744	195,492	170,822	42,145

(注) 営業外損益の内容

- ・ 前回発表予想（500 億円の損失）には、事業構造改革費用 750 億円とその他の損益 250 億円の益を含む。
- ・ 今回発表予想（700 億円の損失）には、事業構造改革費用 1,300 億円とその他の損益（代行返上益等）600 億円の益を含む。

2. 修正の理由

連結通期業績予想修正の主な内容は、以下のとおりです。

- ・ 営業利益は、競争激化に伴う著しい価格下落など厳しい経営環境ではありますが、PDP テレビやななめドラム洗濯乾燥機などの「V商品」が健闘したことに加え、コスト合理化など経営体質の強化策が奏功し、前回予想の 2,800 億円から 3,000 億円に修正いたします。
- ・ 税引前利益は、営業利益を増額いたしました。これは主に、構造改革の加速を推進したことにより、事業構造改革費用の見通しを従来予想の 750 億円から 1,300 億円に変更したことによるものです。
- ・ 当期純利益は、構造改革を推進した結果、繰延税金資産の見直しも予想され、法人税等の増加が見込まれることなどにより、前回予想の 630 億円から 500 億円に修正いたします。

業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下の通りですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場（日本、欧米およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動
- ・ 産業界・消費者の需要動向
- ・ ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動
- ・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
- ・ 松下グループが他企業と提携・協調する事業の動向
- ・ 諸外国による貿易・通商規制、労働・生産体制関連への規制等（直接・間接を問わない）
- ・ 保有する有価証券、その他資産の時価の変動、その他会計上の方針の変更
- ・ 地震等自然災害の発生、その他の事業活動に混乱を与える可能性のある要素 など

以 上